

飯田ゼミ SRC

タイトル：シリアー混迷と危機

発表者：塩入勇：望月大輝

シリアの内戦の始まりは、フセイン政権打倒のためのアメリカ軍中心の多国籍軍が主要原因である。その後、フセイン政権が瓦解したあと、シーア派のイラク政府とイラク北部のスニ派の過激派グループが軍事的・政治的真空の後、シリア領内に軍事基地を作り、さらにアサド政権の弱体によって、イスラム国が成立したことにシリア全土が戦争状態に入ったことである。

シリアでは地理的領内では、アサド政権、イスラム国、クルド戦線、ヌスラ派戦線、反体制派戦線が軍事的勢力である。ここに、外国勢力が介入するので、軍事的・政治的混乱が増幅してしまう。

このプレゼンテーションでは、シリアの軍事的図解・他国の介入を述べながら、その解決策（平和につながる）を述べていきたい。